

2019年1月22日

泌尿器科・副腎・腎移植外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 生体腎移植レシピエントの体脂肪面積と腎移植後新規発症糖尿病との関連：単施設後ろ向き観察研究

[研究機関の長] 香川大学医学部・医学部長・上田夏生

[研究組織]

- 研究責任者：香川大学医学部泌尿器科学・教授・杉元幹史
- 研究分担者：香川大学医学部泌尿器科学・助教・田岡利宜也

[研究の目的] 腎移植を受けられた方のうち、新たに生じる糖尿病のことを New-onset diabetes after kidney transplantation (NODAT) と呼びます。NODAT は、腎移植をうけられ方のうち 4-24% に発症し、移植腎の生着や、腎移植患者さんの生命に悪影響を及ぼすことが知られています。一方、脂肪の蓄積は NODAT のリスクのひとつで、その評価には腹囲や BMI (Body mass index) が代用されていますが、それらは脂肪蓄積を直接測定するものではありません。本研究は、生体腎移植を受けられた方の移植前の腹囲、そして BMI に加え、体脂肪面積を算出し、NODAT との関連を解析することで、体脂肪面積が、腹囲や BMI と比べて、より正確な NODAT の予測因子になるか否かを明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2005年4月～2016年4月に香川大学医学部附属病院にて生体腎移植術を受けられた患者さん

○利用する診療情報

診療情報：移植時の年齢・身長・体重・腹囲・体脂肪面積、性別、血液型、血糖値、HbA1c 値、現在の移植腎生着の有無

[個人情報の保護等について]

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部泌尿器科学 担当医師 田岡利宜也

電話 087-891-2202 FAX 087-891-2203